

平成 29 年 度
公益財団法人大田区産業振興協会
事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日



公益財団法人大田区産業振興協会

平成 29 年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

平成 29 年度 総 括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業(定款第 4 条(1)関係)・・・	2
2 区内中小企業者の経営支援に関する事業(定款第 4 条(2)関係)・・・	4
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業(定款第 4 条(3)関係)・・・	9
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業(定款第 4 条(4)関係)・・・	16
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業(定款第 4 条(5)関係)・・・	19
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業(定款第 4 条(6)関係)・・・	24
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から受託する 事業(定款第 4 条(7)関係)・・・	27
平成 29 年度 産業プラザ施設利用状況<別表 A>・・・	29
施設利用収入状況<別表 B>・・・	29
内職あっせん・相談事業<別表 C>・・・	30
理事会・評議員会	31
協会組織強化	32

平成 29 年度 総 括

平成 29 年度の我が国の経済動向については、海外経済の回復、又は国内雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が更に進展する中で、民需を中心とした景気回復傾向が見られた。しかし、トランプ政権下での経済政策や貿易政策の影響など、世界経済の動向が即座に、日本経済にも影響することが懸念される。とりわけ、米国が中国及び日本の鉄鋼・アルミなど輸入制限あるいは中国の対抗措置としての関税など米中の対立が、景気減速につながる可能性もある。

また、日銀の短観では、原料高の関係や製造業だけでなく建設・小売りについても「深刻な人手不足」をあげている。新聞情報では、来春入社採用計画において、主要企業の大卒採用の計画は合計で今春実績に比べて 8.5%増となっている。9年連続のプラスでありけん引したのは製造業の 10.2%増であった。こうした採用を急ぐ背景に優秀な理工系の人材獲得に各社が、「IoT」や「EV（電気自動車）」、「自動運転車」に向けた開発が増え、今後中国など外資系企業と優秀な人材の獲得競争が起きることを想定した動きが出ている。

こうした中、平成 30 年度は、「おおた未来プラン十年（後期）」の総仕上げの年に当たることから、大田区産業経済部との連携のもと目標達成に向け、確実に施策を推進するとともに、「大田区実施計画」を踏まえ、当協会も今後の区政の方向性と連動する極めて重要な年となってくる。

本年度、当協会では従来の事業展開を見直し、選択と集中のもとに、メリット・デメリットを分析したうえで、事業及び組織のあり方、又はレイアウトも含め再編を行った。事業面においては、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした施策実現に向けた取り組みとして、東京都の補助事業「地域連携型障がい者スポーツ用具開発促進事業」の採択を受け、ものづくりクラスター形成のモデル事業の委託を受けて製品を完成することができた。また羽田空港跡地に資する産業クラスターの形成支援についても取り組みを始めた。

「商い・サービス産業分野」では、「おおた商い(AKINAI)・観光展 2017」が東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた、区の観光資源の見直し・発見及び商業力向上を推進する場となった。また、「大田のお土産 100 選の表彰事業」では、26 品のお土産を選定することができ、2 年間で 52 品となった。そこで選定されたお土産について公共交通機関の協力もあり、車内広告での周知、あるいは区のイベント等における広報活動など、あらゆる機会を捉えて大田区の商い・ものづくりをプロモートすることができたため、協会活動が大きく飛躍する年となった。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条(1)関係】

〔重点取組み事項〕

- ・大田区の地域産業プロモーションの拡充のため、多言語に対応したWeb版の大田区工業ガイドの配信を開始した。今後、いちおしグルメ、お土産100選にも対応していく。
- ・景気動向調査では、本年度から金融機関の所見を加え中小企業等への情報配信を開始した。
- ・羽田跡地の産業交流施設のあり方など、新たな大田区の産業振興施策策定に関連する事業(受託事業)と当該施策に対する当協会のあり方を検討するため、事業戦略顧問を設置して調査・研究等を行っている。
- ・「大田ブランド推進協議会」は、大田区が実施する他分野と連携した包括的なシティプロモーション戦略に移行していくため、発展的な意図をもって現行の協議会体制を解消した。
- ・「下町ボブスレープロジェクト」は、区内中小企業のネットワーク構築に貢献したものの、韓国・ピョンチャン五輪への参加はならなかったのを期に今後の活動方針を見直すこととなった。このため、当協会における支援活動も本年度末をもって終了した。

① 大田区産業振興普及事業

【予算額 (補助) 635,000 円】 【決算額 (補助) 505,303 円】

(ア) 総合事業案内冊子(ポケット付きカバー及び協会組織図)の配布

(イ) 産業情報冊子(大田区工業ガイド)の配布(日本語版・英語版・中国語版)

工場見学・視察対応及び協会窓口等で随時配布

大田区工業ガイド(日本語版・英語版・中国語版)のWebページ制作(Web化)

(ウ) 視察対応

国内	14 団体	245 人
海外	7 団体	102 人

② 大田ブランド発信事業

【予算額 (自主) 205,000 円】 【決算額 (自主) 0 円】

大田ブランド推進協議会 役員会等

定例役員会	平成 29 年 4 月 25 日 議案：平成 28 年度事業・収支決算報告、 平成 29 年度事業・予算計画について
臨時役員会	平成 30 年 3 月 6 日 議案：大田ブランド推進協議会 発展的解消について等
解散式	平成 30 年 3 月 6 日 会場：プラザ・アペア 3 階 リモナ 参加者：48 名

※同協議会は、大田区のシティプロモーション戦略での展開を見据え、平成 30 年 3 月 31 日付けをもって解散した。

③ 産業情報誌の発行

【予算額 (補助) 4,870,000 円】 【決算額 (補助) 3,761,372 円】

区内製造業向けに支援策の概要を周知するために隔月(奇数月)情報誌を発行。

「テクノプラザ」	A4 判 各号 5,200 部	年 6 回発行 (5・7・9・11・1・3 月号)
----------	-----------------	---------------------------

④ 産業情報受発信事業

【予算額（補助）10,432,000円（自主）6,326,000円（合計）16,758,000円】

【決算額（補助）8,573,434円（自主）6,248,319円（合計）14,821,753円】

（ア）産業情報の収集と提供

・産業関連情報誌の購入：95冊 ・寄贈：171冊 ・新聞購入：4紙

（イ）区内中小企業の情報発信

・区内中小事業者の紹介動画（大田区「優工場」認定企業、「大田のお土産100選」表彰製品・商品（事業者）等）をYouTubeにて放映

（ウ）協会ホームページによる情報発信

・随時発信（<http://www.pio-ota.jp/>）
・年間アクセス件数：580,577件
・年間閲覧ページ数（PV）：1,920,898件
※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は、サブサイト「大田区産業プラザ（貸館予約）」、「大田区ものづくり 研究開発マッチングシステム（mirai）」、「おしごとナビ大田区」の件数を含まない。

（エ）下町ボブスレープロジェクトの支援

- 1 寄付の受領（今年度）5,689,341円（累計）30,316,282円（平成30年3月末現在）
- 2 寄付に基づく下町ボブスレー合同会社の活動経費に対する助成 6,230,419円
- 3 おおた工業フェア等での実機展示によるPR
- 4 ソリ開発動向や海外でのテスト結果等について広報活動を支援
※本年度末をもって寄付募集等の支援活動を一旦終了。

⑤ 調査・研究

【予算額（補助）4,369,000円（自主）200,000円（合計）4,569,000円】

【決算額（補助）5,469,733円（自主）0円（合計）5,469,733円】

（ア）景気動向調査

区内中小企業が事業展開等を検討する上で有用な情報を収集・調査し、発信（年4回）。今年度から地元の金融機関からの所見の掲載を開始した。また、特別企画として、休廃業・解散、新設法人の件数等のデータを掲載した。

対象時期等	特別調査（テーマ）等
第1回（平成29年1月から3月期）	平成29年度の経営見通し
第2回（平成29年4月から6月期）	特別企画「平成28年の休廃業・解散、新設法人」掲載
第3回（平成29年7月から9月期）	中小企業の採用動向と従業員の働き方について
第4回（平成29年10月から12月期）	中小企業が金融機関に期待すること

（イ）事業戦略調査・研究

事業戦略担当顧問を設置し、大田区の新たな産業振興基本戦略の方針等の策定に係る会議開催（受託事業：実績等はP.28）に関連した調査・研究を行った。

2 区内中小企業の経営支援に関する事業

【定款第4条（2）関係】

〔重点取組み事項〕

- ・本年度5月から大田区産業プラザ5階に「イノベーション創出担当相談室」を開設。区内企業の研究開発や大田区で創業を希望する相談者に対し、より専門的な相談に対応するよう拡充した結果、年間の相談件数も増加している。
- ・ビジネスプランコンテストは、大田区での事業展開要件を徹底して実施し、ソーシャルビジネスとものづくり系のプランがバランスよく受賞する結果となった。
- ・大田区優秀技術者表彰事業は、技術者個人を表彰する制度から技術・技能を継承するために区内中小企業の優れた取組みを表彰する制度に移行し6事例を表彰した。
- ・「優工場」では歴代認定企業間の連携による新たな取組みを創出するため、これまでの交流会の開催に加え、相互の工場見学ツアーを開始した。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ重点的に取組んでいる「大田のお土産100選」は、累計で52件を選定した。また、広報活動にも注力し、交通機関とタイアップしたPRなど他団体と連携し積極的に展開した。「繁盛店創出事業」の個店診断においても飲食店をはじめとして目標を超える申請・改善件数を達成している。

① 中小企業情報化支援

【予算額（補助）5,356,000円（自主）1,779,000円（合計）7,135,000円】

【決算額（補助）5,148,392円（自主）1,522,717円（合計）6,671,109円】

（ア）ITセミナー

実施日	テーマ	参加者数
平成29年9月6日	①ロゴマークロゴタイプセミナー 会社のマークやロゴをもう一度見直してみる	9人
平成29年11月14日	②キャッチコピーセミナー キャッチコピーを活用して自社製品の認知度向上を図る	10人
平成30年2月26日	③求人メディア活用セミナー 中小企業の採用戦略、若者が心惹かれるメディア戦略	20人

（イ）P i Oデザイン工房

ホームページ・PRツール作成支援サービス (毎週火・水・金実施 ※1区分1時間45分)	新規利用者数：26社 相談件数：324件
--	-------------------------

② ビジネスサポートサービス

【予算額（補助）14,569,000円（自主）60,000円（合計）14,629,000円】

【決算額（補助）7,095,998円（自主）43,102円（合計）7,139,100円】

（ア）ビジネスサポート相談（専門家派遣）

区内中小企業や個人が抱える経営上の様々な課題に、専門家（支援協力者）を派遣する相談事業を実施した。各種補助金申請に関する相談のほか、商業・サービス業者による相談も増加した。

専門家派遣回数	397回	支援協力者登録数	105名
内、事業継承派遣	3回	対応専門家	3名

(イ) プレゼンセミナー等

(a) プレゼンセミナー

実施日	テーマ及び講師	参加数
平成 29 年 8 月 22 日	プレゼン塾	5 人
8 月 29 日	「心を動かすスピーチ・プレゼンテーション」 講師：(株)スマイルボイス 代表取締役 倉島 麻帆 氏	8 人

(b) 知的財産セミナー情報発信

実施日	テーマ
テクノプラザ 平成 29 年 11 月号	知的財産総合相談サービス紹介 「意匠にまつわる知財のはなし」 意匠によるブランド力向上について 著者：NIM 国際特許事務所代表 三田 大智 氏
テクノプラザ 平成 30 年 3 月号	知的財産総合相談サービス紹介 「明治維新にまつわる知財のはなし」 日本で最初の特許制度から現在の日本の特許事情について 著者：NIM 国際特許事務所代表 三田 大智 氏

(ウ) 各種許認可等取得支援助成金の交付

許認可等の種類	助成金交付企業数
I S O 9001	2 社
エコアクション 2 1	2 社
プライバシーマーク	1 社
医療機器製造販売業許可	1 社

③ 繁盛店創出事業

【予算額 (補助) 14,599,000 円】 【決算額 (補助) 13,031,714 円】

(ア) 個店診断・改善費用助成

小売店、飲食店及びサービス業事業者の抱える課題解決のため、店舗経営の専門家による経営相談及び改善提案を行うほか、店舗の改装や宣伝広告などに要する改善費用の一部を助成した。

相談及び提案件数	店舗改善費用助成
34 件	22 件

(イ) 商業情報誌の発行

「あき now」発行	A4 判 年 2 回 (各回 9,000 部)	商店(個店)向けの情報誌を発行し、商店街を中心に区内の店舗に配布した。
------------	----------------------------	-------------------------------------

(ウ) 商い経営事例研究会・空き店舗現地視察会

大田区個店・空き店舗視察&勉強会

実施日	内容	実績	参加者
平成 30 年 3 月 1 日	①区内の個店 2 店舗見学 ・ペンギンシャトル(大田区北馬込 2-48-12) ・マザーズミートプラザ(大田区久が原 3-39-24) ②池上地区商店街見学及び空き店舗紹介	満足度 89.1%	15 人

	③ケーススタディ 大田文化の森 第二集会室（大田区中央 2-10-1） 講師：中小企業診断士 岩瀬 敦智 氏	
--	--	--

（エ）商店街空き店舗マッチング事業

空き店舗相談

相談・情報提供件数	8 件
-----------	-----

④ 創業者支援事業

【予算額（補助）15,484,000 円（自主）170,000 円（合計）15,654,000 円】

【決算額（補助）13,135,124 円（自主）166,400 円（合計）13,301,524 円】

（ア）創業相談窓口の設置

創業相談窓口相談件数	相談件数 延べ 308 件
------------	---------------

（イ）ビジネスプランコンテスト

ビジネスプランコンテスト		申込件数 42 件	表彰 9 件
表彰名	プラン名	表彰企業	
最優秀賞	子育てママのためのクラウド内職ファシリテート事業	(一社) B T m a m a	
優 秀 賞	日本の眠れる資源で世界に調和の花を咲かす！職人技で蘇らせる着物リメイク日傘	あきざくら	
協賛先特別賞	さわやか信用金庫賞	足湯で好みの入浴剤を体験できる足湯カフェの開業	(株)湯セレクト
	日本工学院賞	住宅診断ポータル・マッチングサイト	(株)Z E R O
	よい仕事おこし賞(城南信用金庫)	力覚表現装置を開発し、仮想現実を進化させる	合同会社 MOAI 設計
	共立信用組合心のふれあい賞	力を伝え合う I o T 触覚ソーシャルネットワークサービス	(株) I M I
	芝信用金庫賞	見守り・介護連携機能強化型高齢者向け配食サービス	(株)セントリック (ニッコリ弁当)
	川崎信用金庫賞	AI による飲食店等の来客者数予測サービス	(株) R O X
第一勸信賞	元駐在妻による、駐在妻のためのライフ・キャリアサポート事業	グローバルライフデザイン	

（ウ）創業塾

コース及び実施日	内 容	参加者数
第 1 回： 平成 29 年 9 月 22 日	テーマ 「創業の心構え」 講 師 ハンズオンビジネスサポート研究所代表 岩瀬 敦智 氏	15 人
第 2 回： 平成 29 年 9 月 27 日	テーマ 「事業計画のつくり方」 講 師 (株)にぎわい研究所 村上 知也 氏 テーマ 「営業入門」(午前の部) 講 師 中小企業診断士 中島 文平 氏	26 人 23 人

第3回： 平成29年10月18日	テーマ 「人材確保・育成」（午後の部） 講師 やなぎさわ労務マネジメント 柳沢 隆 氏	16人
第4回： 平成29年11月1日	テーマ 「商品開発/プロモーション」 講師 PR コンサルタント 小室 梨佳 氏	27人
第5回： 平成29年11月15日	テーマ 「ITの活かし方」 講師 (株)にぎわい研究所 村上 知也 氏	28人
第6回： 平成29年12月6日	テーマ 「事業計画の作成」 講師 ハンズオンビジネスサポート研究所代表 岩瀬 敦智 氏	15人

(工) 賃貸事業所賃料助成

賃貸事業所賃料助成件数	10件
-------------	-----

⑤ 工場表彰制度

【予算額 (補助) 3,109,000円 (自主) 120,000円 (合計) 3,229,000円】

【決算額 (補助) 2,597,789円 (自主) 148,264円 (合計) 2,746,053円】

申込企業	8社
実地調査	平成29年8月30日、31日、9月1日
審査会	平成29年10月16日
認定	認定8工場、うち表彰5工場
	① 総合部門賞：3社 ・シナノ産業(株)・(株)上島熱処理工業所・(株)三和デンタル
	② 人に優しい部門賞：1社 ・(株)コトブキ
	③ まちに優しい部門賞：1社 ・大日精機(株)
	④ 認定工場：3社 ・佐藤工業(株)・堤工業(株)・日新電気(株)
表彰	平成30年1月31日「第22回おおた工業フェア」にて認定・表彰
累計	246社(平成30年3月末現在)
成果	平成28年度認定12社にアンケートを実施、成果目標「満足度80%」に対し、「満足度100%」を達成。
「優工場」プロジェクト	<p>①第1回プロジェクト会議(平成29年6月13日「優工場」認定7社参加) 平成29年3月開催のグループディスカッション及び交流会を経て、同会議を開催。「優工場」同士の連携を深めるため、次回の交流会実施を決定。</p> <p>②「優工場」交流会(平成29年9月6日「優工場」認定26社参加) 各社が自社のPRを1分間でプレゼンテーションを行った後、交流会を実施。</p> <p>③第2回プロジェクト会議(平成29年10月23日「優工場」認定4社参加) プロジェクト中核の5社同士での工場見学ツアー実施を決定。</p> <p>④工場見学ツアーの実施(平成29年11月21日「優工場」認定5社参加) 5社(各社1時間程度)の工場見学ツアーを実施。</p> <p>⑤第3回プロジェクト会議(平成30年1月15日「優工場」認定4社参加) 工場見学ツアーの振り返りを行い、中核メンバーを増やす旨決定。</p> <p>⑥第4回プロジェクト会議(平成30年3月20日「優工場」認定7社参加) 新規参加の2社と顔合わせを行い、プロジェクトの主旨・目的共有と次回の工場見学ツアー(平成30年4月13日)について調整を実施。</p>

⑥ 商店（飲食店）表彰制度

【予算額（補助）4,173,000円】 【決算額（補助）3,334,513円】

申込企業	29社
実地調査	平成29年6月から7月
審査会	平成29年8月4日
表彰	①総合部門3店舗 ・asian dining Hotpot・羽田バル・梅屋敷 梅林本店 ②こだわり部門7店舗 ・Café Slik・Café SALUTE・Yıldız Turkish Restaurant & Bar・Pizzeria B ・大衆ガストロノミー プチ・プラット・創作和食零・炭火伊酒場 とりっとりあ
表彰式	平成29年10月14日「おおた商い(AKINAI)・観光展」にて表彰

⑦ 大田区優秀技術者表彰事業

【予算額（補助）6,139,000円】 【決算額（補助）5,005,215円】

大田の工匠 Next Generation

平成28年度受賞者表彰式	平成29年7月7日「第10回大田区加工技術展示商談会」にて13名表彰
大田の工匠 Next Generation展2017	平成29年8月2日から8月13日、延べ12日間、 グランデュオ蒲田3階東西連絡通路、来場者数27,032人

大田の工匠 技術・技能継承

平成29年度の募集及び 調査・審査	平成29年9月1日から10月31日 (応募企業数)6社(6組) (実地調査)12月5日、6日、15日、計3日間 (審査会)2月5日、6社(6名)を選定
----------------------	--

⑧ 大田のお土産100選 表彰事業

【予算額（補助）7,724,000円】 【決算額（補助）7,504,715円】

応募事業者	41件（ものづくり部門14件、食品部門27件） ※1社辞退
表彰製品・商品 （事業者）	26件（ものづくり部門7件、食品部門19件）
3賞5点	最優秀賞：老舗伝承（株守半總本舗） 優秀賞：ポータブルお茶ミル「Sururu」（株東京商工社） 奨励賞：池上すいとぼと（VANNI-ヴァンニー（有）互葉食品） 奨励賞：ステンレス製 蝋燭立て（株酒井ステンレス） 奨励賞：鮎焼き（有）大黒堂
表彰	平成29年10月14日「おおた商い(AKINAI)・観光展2017」にて表彰
展示・販売	①「空の日 in 羽田」（9月30日 羽田空港旧整備地区にて） 平成28年度表彰3事業者出展 ②おおた商い観光展2017（10月14日、15日 大田区産業プラザPi0にて） 平成29年度表彰式開催、11表彰事業者出展 ③大田区観光情報センター展示販売（10月14日から31日） 平成29年度表彰18製品・商品を展示・販売 ④OTAふれあいフェスタ（11月4日から5日、平和島[水のエリア]にて） 平成29年度表彰6事業者が出展

広報活動	<p>①公共交通機関への広告展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東急線（平成 29 年 10 月 27 から 12 月 26 日 池上・多摩川・大井町） ・京急線（平成 29 年 10 月 27 日から平成 30 年 4 月 26 日 普通 品川～浦賀） ・京急線羽田空港国内線ターミナル駅改札内 （平成 29 年 10 月 26 日から 11 月 25 日） <p>②平成 28 年度、29 年度総合版パンフレット 7,000 部制作</p> <p>③「きになる電車」 （平成 29 年 11 月 14 日から 12 月 31 日 東急池上線・多摩川線）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車内全面に東急沿線の表彰製品・商品（事業者）の広告掲載 <p>④その他の広報活動一覧</p> <p>おおた博覧会 2017in 羽田空港、プレスリリース、池上線 1 日フリー乗車 DAY、表彰製品・商品（事業者）紹介パンフレット 10,000 部制作、テクノプラザ 11 月号掲載、デジタルサイネージ 11 月放映、特設 Web ページ平成 29 年度表彰製品・商品（事業者）更新、区設掲示板 12 月 12 日から 25 日掲出、大田区商店街連合会 Web サイト掲載、庁内報 12 月号掲載、大田区産業振興協会 Web サイト特集記事掲載、羽田空港ターミナルマガジン「BIG BIRD PRESS」1 月号掲載、SALUS（2 月号）広告掲載、羽田空港国際線ターミナルにて「大田のお土産 100 選」食品サンプル及び紹介文展示</p>
成 果	平成 29 年度表彰事業者のアンケート 満足度成果目標 80%に対し、81%（大変満足 35% 満足 46%）

3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

【定款第 4 条（3）関係】

〔重点取組み事項〕

・「受・発注商談会」は、年 2 回（9 月、2 月）参加企業 250 社（発注企業 70 社、受注企業 180 社）規模で開催。事前マッチング制が定着し、区内中小企業に対し確度の高い商談機会を提供（約 1,500 件）した。本年度の新しい取組みとして高付加価値の開発案件に特化した「ニーズプル商談会」を開催。大手企業と区内中小企業との商談を 23 件創出した。（継続 9 件：平成 30 年 3 月末現在）

・海外取引相談では、e コマースを活用し多言語展開しているマッチング Web サイトに大田区特集ページを掲載し大田区産業や企業の PR を行った。また、英文企業ガイドは、新規企業 39 社を含む 126 社を掲載した改訂版を発行すると共に Web カタログ化し、海外からのアクセスを可能にした。また、本年度は、海外取引を希望する企業が増加傾向にあることを踏まえ、海外取引のスタートアップセミナーを開催した。

・商業分野の事業では、「おおた商い(AKINAI)・観光展 2017」において併催イベント等の工夫により、区外や若年者等の来場客層の拡大と、地域産業の次の担い手となる高校生の参画を図っている。また、本年度は新規に「フードビジネス商品磨き上げ事業」を実施、参加者が市場に合わせて商品開発や品質向上させ、市場に PR することを習得する機会を提供した。

① 受・発注相談

【予算額（補助） 30,418,000 円（自主） 1,789,000 円（合計） 32,207,000 円】

【決算額（補助） 26,139,891 円（自主） 1,246,368 円（合計） 27,386,259 円】

(ア) 相談業務(工業)

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
192 件	受注	発注	コーディネーター： 329 件
89,249 千円	8 件	912 件	シルバー人材委託： 2,325 件

※（公財）東京都中小企業振興公社への企業登録 区内登録数(平成 30 年 3 月末) 2,703 社

(イ) 発注開拓(工業)

ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による主に区外の大手企業への発注開拓

訪問先	174件
活動成果	成約案件：22件 成約金額：176,457千円

(ウ) 受・発注商談会

(a) ものづくり受発注商談会

	実施日	参加企業	発注・受注	商談件数
第1回	第55回ものづくり受発注商談会 in 大田 平成29年9月22日	269社	84社・185社	804件
第2回	第56回ものづくり受発注商談会 in 大田 平成30年2月14日	263社	79社・184社	772件

(b) 農業機械技術研究会

	実施日時・概要	参加人数
第1回	平成30年2月16日 15時から17時 「農業の現状について」 講師：一般社団法人ALFAE 運営委員 木下 綾子 氏	17人
第2回	平成30年2月23日 15時から17時 「農業や食のICTやIoTについて」 講師：一般社団法人ALFAE 代表理事 亀岡 孝治 氏	16人
第3回	平成30年3月2日 15時から17時 「成功例から学ぶ」 講師：おおた農水産業研究会 会長 加世田 光義 氏	19人

② 海外取引相談

【予算額(補助) 15,401,000円(自主) 427,000円(合計) 15,828,000円】

【決算額(補助) 12,405,086円(自主) 190,625円(合計) 12,595,711円】

(ア) 海外取引相談

(a) 相談件数

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国	150件	北米	32件
ASEAN	70件	その他	77件
欧州	110件	合計	439件

(b) 国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数

相手先	件数	相手先	件数
韓国	2件	ASEAN	8件
中国・香港	19件	欧州	16件
北米	5件	その他	5件
台湾	17件	合計	72件

(c) 国際取引あっせん

発注案件紹介件数	期内成約案件件数	取引成約金額
21件	7件	202,488千円

(イ) 海外市場開拓

(a) 市場開拓（商談会）

実施日	国	参加企業	商談件数	可能性高
平成 29 年 9 月 7 日	中国・台湾	4 社	19 件	7 件
平成 29 年 11 月 23 日	タイ	6 社	23 件	9 件

(b) その他市場調査

日程	調査先
平成 29 年 9 月 28 日	アフリカ・ガーナ共和国（農林水産省関連）
平成 29 年 11 月 28 日、29 日	アフリカ・ウガンダ（農林水産省関連）

(ウ) 海外取引セミナー及び海外市場勉強会

実施日	テーマ及び講師	参加人数
平成 29 年 7 月 28 日	「製造業のアジア販路拡大セミナー」 講師：㈱イプロス 早川 友樹 氏	23 人
平成 29 年 11 月 29 日	「国際物流見学会」 会場：東京国際エアーカーゴターミナル(TIACT)	29 人
平成 30 年 2 月 1 日	「2018 年の中国経済の行方 ～二期目の習近平政権の政策課題」 講師：㈱富士通総研 経済研究所 主席研究員 柯 隆 氏	106 人
平成 30 年 2 月 22 日	「海外ビジネス スタートアップセミナー」 講師：日本貿易振興機構 新輸出大国エキスパート 渡辺 久倫 氏 ビジネス展開支援部 松居 大樹 氏 ㈱ Xenoma 取締役 CFO 富取 祐香 氏 ㈱弘機商会 代表取締役社長 高原 隆一 氏	39 人

勉強会	開催数
欧州市場勉強会	3 回

(エ) 外国語文書翻訳

文書翻訳サービス	34 件
----------	------

(オ) 英文企業ガイドの作成

平成 26 年度版に続き第 2 版を発行した。126 社掲載（うち新規 39 社）。海外出張時及び海外からの来客へ配布すると同時に協会ホームページ上で Web カタログ版を公開。

<http://www.pio-ota.jp/overseas-expansion/company-finder.html>

(カ) e コマースの活用

イプロス社が運営する製造業マッチングサイト「Tech Directory Asia」において大田区特集ページを開設し、大田区産業の PR と区内中小企業の紹介。中国、タイ、インドネシア、ベトナムの 4 か国向けにそれぞれ現地語と日本語との 2 言語で展開。

	全体	中国	タイ	インドネシア	ベトナム
掲載企業数	37 社 (110 件)	27 ページ	31 ページ	24 ページ	28 ページ
閲覧数	17,553	11,081	3,393	1,380	1,699
問合せ数	13 件	0 件	7 件	0 件	6 件

※1 社で複数国の掲載が可能。

③ 大田区加工技術展示商談会

【予算額（補助）12,581,000円（自主）1,620,000円（合計）14,201,000円】

【決算額（補助）11,826,310円（自主）1,620,000円（合計）13,446,310円】

開催日	参加社	来場者	商談件数	取引成立金額
平成29年7月7日	100社	2,012人	3,619件	51,196千円

（併催商談会）ニーズプル型マッチング会

開催日	参加企業数	商談件数	商談継続社数
平成29年7月7日	19社	23件	9社

④ 国内見本市への出展支援

【予算額（補助）15,273,000円】 【決算額（補助）15,873,507円】

（ア）大田区ものづくり産業PR展示会

展示会名	会期及び会場	成 果
第8回試作市場2017	平成29年4月27日から28日 大田区産業プラザPiO	相談件数 60件 成約件数 6件
人とくるまのテクノロジー展2017	平成29年5月24日から26日 パシフィコ横浜	相談件数 58件 成約件数 4件
第21回機械要素技術展	平成29年6月21日から23日 東京ビッグサイト	相談件数 91件 成約件数 11件
北洋銀行ものづくりテクノフェア2017	平成29年7月20日 アクセスサッポロ	相談件数 5件 成約件数 3件
2017”よい仕事おこし”フェア	平成29年8月22日から23日 東京国際フォーラム	相談件数 9件 成約件数 1件
ビジネスフェア（さわやか信金）	平成29年10月19日 大田区産業プラザPiO	相談件数 3件 成約件数 0件

（イ）新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 8社

展示会名	会期及び会場	成 果
Photonix2017	平成29年4月5日から7日 東京ビッグサイト	相談件数 148件、継続案件 23件 成約件数 2件、成約金額 1,750千円
JECA FAIR 2017	平成29年5月17日から19日 東京ビッグサイト	相談件数 168件、継続案件 19件 成約件数 1件、成約金額 500千円
第21回機械要素技術展 （2社）	平成29年6月21日から23日 東京ビッグサイト	相談件数 1,084件、継続案件 128件 成約件数 535件、成約金額 2,200千円
JACLaS EXPO 2017	平成29年9月21日から23日 パシフィコ横浜	相談件数 33件、継続案件 7件 成約件数 0件、成約金額 0千円
東京デンタルショー2017	平成29年11月11日から12日 東京ビッグサイト	相談件数 251件、継続案件 80件 成約件数 1件、成約金額 5,000千円
鉄道技術展2017	平成29年11月29日から12月1日 幕張メッセ	相談件数 85件、継続案件 8件 成約件数 3件、成約金額 9,200千円
住宅・都市イノベーション 総合展2017	平成29年12月13日から15日 東京ビッグサイト	相談件数 103件、継続案件 13件 成約件数 0件、成約金額 0千円

（ウ）国内見本市出展助成金

	採択件数	出展企業	成 果
第1回	24件	24社	相談件数 2,869件、継続案件 564件 成約件数 440件、成約金額 92,223千円
第2回	11件	10社	相談件数 585件、継続案件 342件 成約件数 2件、成約金額 516千円

※成約件数及び成約金額については3月末時点。未集計分については次年度報告書に記載する。

⑤ 海外見本市への出展支援

【予算額（補助）9,978,000円（自主）969,000円（合計）10,947,000円】

【決算額（補助）7,837,161円（自主）741,058円（合計）8,578,219円】

（ア）共同出展

展示会名	会期及び会場	成 果	参加企業
COMPAMED 2017（ドイツ）	平成29年11月13日から16日 メッセ・デュッセルドルフ	商談件数 108件 成約件数 0件 継続案件 23件	4社
FBC 上海 2017 ものづくり商談会	平成29年9月21日から23日 上海国家会展中心	商談件数 69件 成約件数 0件 継続案件 26件	6社

（イ）海外見本市出展助成金単独出展（単独出展：自由選択制）

	採択件数	出展企業	成 果
第1回	7件	7社	商談件数 281件、継続案件 46件 成約件数 11件、成約金額 11,130千円
第2回	2件	2社	商談件数 212件、継続案件 50件 成約案件 33件、成約金額 1,478千円
第3回	1件	1社	商談件数 35件、継続案件 4件 成約件数 1件、成約金額 104千円

※成約件数及び成約金額については3月末時点。未集計については次年度報告書に記載する。

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【予算額（補助）27,112,000円（自主）6,501,000円（合計）33,613,000円】

【決算額（補助）27,227,918円（自主）6,337,109円（合計）33,565,027円】

（ア）「おおた商い(AKINAI)・観光展 2017」

～来て見て感じて“おおた”の心（おもてなし）～

会 期	出展者数	入場者数
平成29年10月14日から15日 2日間	128社（団体）	9,125人
概 要	<p>大田区の観光産業及び区内商店、商品を紹介。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた、区の観光資源の見直し・発見や商業力向上を推し進めていく場として開催。「来て見て感じて“おおた”の心（おもてなし）」をサブタイトルとし、大田区の様々な業種の商店の出展促進、若年層・区外住民等の客層の拡大を図り、大田区の観光の振興及び出展者の集客増大に資することをコンセプトとした。前年に引き続き、衣類、服飾品、アクセサリなどのファッション関連事業者を集めたプレミアム小間コーナーを会場内に設け、ファッションショーも併催して区内の同産業の魅力を紹介した。また、「面的な広がり」を継続し、蒲田地域の同時開催イベントである「友好都市 ふれあいひろば」、「さかさ川通り おいしい収穫祭」、「京急蒲田あすと大感謝祭」、「第5回蒲田映画祭」、「第37回大田区しょうがい者の日のつどい」と相互連携を図った。</p>	
出展内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「自慢の味覚コーナー」「プレミアムコーナー」「生活・おしゃれコーナー」「匠の技コーナー」「にぎわいコーナー」「大田のお土産100選コーナー」「がんばれ東日本応援コーナー」「おおたで遊ぶコーナー」「ふるさとの味覚コーナー」「大田区商店街連合会」「屋外テント」のエリアに分け、名品や伝統工芸、現代の匠の技等、大田区の魅力を広く紹介。 ・東日本大震災で被災した、岩手県、福島県及び茨城県の「自然の恵み豊かな食品」などの展示即売を実施。 	

	集客	・「面的広がり」連携イベントの5つの会場をつなぐウォーキングラリーの実施
	売会期後の増策	・出展者に「意外とバカにできない『接客力』」セミナーを開催 平成29年9月4日 講師 石田 智子 氏 (23人) ・マーケティング実践、創業体験を目的に販売戦略策定セミナーを3回開催 講師 高田 泰弘 氏 第1回7月27日(8人) 第2回8月24日(8人) 第3回11月2日(8人)
14日	表彰式	・「おおたの逸品」 (大田区商店街連合会) ・「OTA! いちおしグルメ」 ((公財)大田区産業振興協会) ・「大田のお土産100選」 ((公財)大田区産業振興協会) ・「大田区商店街PR動画コンテスト」 (大田区産業振興課)
	シネパラ蒲田 ～第5回蒲田映画祭～	映画上映&トークショー ・「鍵の権三」上映(80人) (大田区観光課・(一社)大田観光協会)
	「富士山」描写実演	銭湯背景画絵師 丸山 清人 氏
	ステージイベント	・大田区「ゆるキャラ大集合」 ・蒲田女子高等学校生徒によるファッションショー 他
15日	シネパラ蒲田 ～第5回蒲田映画祭～	映画上映&トークショー ・岩下志麻トークショー&「秋刀魚の味」上映(351人) ・TVF参加作品上映会(50人) (大田区観光課・(一社)大田観光協会)
	ステージイベント	・地域で活動する団体のダンス、コーラス 他
両日	第5回蒲田映画祭 特別企画展示	・続々ゾク! 「小沢昭一的こころの部屋」 トークショー「我等が先輩・小沢昭一さん」 含む

(イ) 第22回 高度技術・技能展 おおた工業フェア「FLY HIGH ～跳、大田区～」

会 期		出展者数	入場者数	商談件数
平成30年1月31日から2月2日 3日間		106社(団体)	3,071人	3,687件
概 要	区内中小企業の取引促進・販売拡大、情報の交換と技術交流の推進を目的に開催。			
	テーマ展示	最終製品の製造や設計・試作を伴った、提案型のものづくりを行う企業18社による「カタチ化・最終製品製造」コーナーを1階大展示ホールに設け、受託加工だけでなく、大田区製造業の新たな潮流を感じ取れる展示とした。また、2階小展示ホールでは『下町ボブスレー』を生み出したものづくりネットワーク」と題し、「下町ボブスレー」の実機4台と共に、ボブスレーネットワークで中心的な役割を担っている企業6社による展示を行った。加えて、新たな取り組みである「車いすバスケット車いす」、「看工連携」、「農工連携」の展示を行い、大田区が取り組んでいるクラスター創出をPRした。		
31日	表彰式	・第29回大田区中小企業新製品・新技術コンクール表彰式 ・平成29年度大田区優工場表彰式		
	講演	・基調講演 「未来をつくる『ものづくり×イノベーション』」(138人) 講師：法政大学大学院教授／一橋大学特任教授 米倉 誠一郎 氏		
	併催	・「優工場」認定工場 褒賞パネル展示(1月31日から2月2日) ・大田区中小企業新製品・新技術コンクール 受賞企業プレゼンテーション(1月31日)		

1 日	セミナー	・下町ボブスレーセミナー 「下町ボブスレー オリンピックへの挑戦」(54人) 講師：(株)マテリアル 代表取締役 細貝 淳一 氏
		・医工連携セミナー 「『看工連携』という新たなチャレンジ ～ものづくりと看護がタッグを組んでできること～」(40人) 東京工科大学 医療保健学部 看護学科長 教授 野澤 美江子 氏
		・モビリティセミナー 「自動車の自動運転への取り組み」(45人) 講師：群馬大学大学院 理工学府 知能機械創製部門 准教授/ 次世代モビリティ社会実装研究センター 副センター長 小木津 武樹 氏
2 日	講演	・特別講演 「ものづくり企業と営業力」(168人) 講師：(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー 入江 慎也 氏
	セミナー	・下町ボブスレーセミナー 「下町ボブスレーとCFRPの可能性」(40人) 講師：東レ・カーボンマジック(株) 代表取締役 奥 明栄 氏
		・ロボットセミナー 「『間(ま)』を合わせる歩行支援ロボット「WALK-MATE」(17人) 東京工業大学 情報理工学院 知能情報コース 教授 三宅 美博 氏

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【予算額 (補助) 5,284,000円 (自主) 249,000円 (合計) 5,533,000円】

【決算額 (補助) 2,433,479円 (自主) 308,900円 (合計) 2,742,379円】

(ア) 相談業務(商業)

専門相談員(あきない活性化コーディネーター)による区内商い関連事業者への訪問調査

訪問件数	185件
------	------

(イ) フードビジネス商品磨き上げ事業

項目	内容	参加社数
コース①	食のセレクトショップバイヤーに教わる「取り扱い可能な商品づくり」 講師：株式会社日本百貨店 1回目：個別相談 10月19日、11月13日、11月30日から選択 2回目：個別相談 2月1日 3回目：個別相談 3月27日	5社
コース②	百貨店ストアマネージャーに教わる「百貨店が求める商品」 講師：株式会社高島屋 1回目：セミナー10月26日 2回目：個別相談 11月28日、12月19日、2月2日から選択 3回目：セミナー 2月22日	5社
コース③	地域食品プランナーに教わる「商品企画、商品開発、販路開拓の基本」 講師：食のショールーム・パルズ 1回目：セミナー10月26日 2回目：セミナー11月22日 3回目：個別相談 2月1日、2月15日、2月24日から選択	8社
実績	参加満足度：100% 商品(改良)化：2社 ※アンケート回答より(複数回答可) 商品の開発・改良に着手：9社 営業ツールの作成・改良に着手：9社 販路拡大等のノウハウ習得：8社	18社

(ウ) 展示会への共同出展（商業）

項目	内容	実績	参加社数
セミナー	展示会出展サポートセミナー 日時：会期前セミナー 9月11日 会期後セミナー10月3日 会場：大田区産業プラザ2階 bizBEACH CoWorking 講師：近藤経営コンサルティング事務所 代表 近藤 光二 氏	満足度 80%	5社
展示会	第7回通販食品展示商談会 日時：9月26日から9月27日 会場：虎ノ門ヒルズフォーラム5階	満足度 75% (取引成立 9件)	

4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業 【定款第4条（4）関係】

〔重点取組み事項〕

- ・本年度から区内中小企業で働くことの魅力を発信するWebサイト「おおたシゴト未来図」の配信を開始し、若手社員が活躍する7社の事例を紹介した。
- ・区内中小企業の人材確保のため大学等と連携して実施する面接会では、従来の横浜商科大学、工学院大学、日本工学院専門学校に加え、城南職業能力開発センター大田校との連携を開始した。超売り手市場とも言われ、中小企業への就労希望者が少なくなっている時勢において区内中小企業への内定実績を得ている。

① おしごとナビ大田区

【予算額（補助）1,868,000円（自主）1,798,000円（合計）3,666,000円】

【決算額（補助）1,739,370円（自主）1,636,170円（合計）3,375,540円】

(ア) 求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

対象・内容	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	135社
新規登録企業件数	41件

(イ) 企業取材と地域情報の配信

対象・内容	掲載社数・更新数等
企業PRの取材	6回
コラム（大田区そぞろ歩き）の更新	9回

(ウ) 民間広告媒体を活用したPR

民間企業広告活用件数	依頼会社
3件	ヤフー(株)・東急バス・京急電鉄

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【予算額（補助）911,000円（自主）100,000円（合計）1,011,000円】

【決算額（補助）744,202円（自主）20,000円（合計）764,202円】

(ア) 都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校(高専)の教授陣と施設を活用し、中小企業の若手技術者育成を目的として実施した。基礎講座は品川区と連携による通学型、出前講座は大田区企業の希望場所への出張型として、それぞれ実施した。

講座科目別実績

	科 目	単 位 2時間/1回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)
基 礎 講 座 (大田区・品川区)	機械設計のための基礎	15 回	9月1日から10月12日	16(4) 人
	工業材料の基礎	8 回	10月17日から11月10日	13(5) 人
	加工と測定の基礎	8 回	11月13日から12月5日	15(5) 人
	デジタルマニファクチャリング 体験講座	6 回	12月7日から12月21日	8(3) 人
	電気回路の基礎	10 回	9月27日から10月26日	8(1) 人
	シーケンス制御の基礎	10 回	10月31日から11月29日	17(8) 人
出前講座 (大田区)	はんだ付けの講義及び実技 (フィーサ株)	4 回	11月6日から7日	8 人

(イ) おおた少年少女発明クラブの運営

活 動 期 間	会 場	テ ー マ	参加人数
平成 29 年 4 月 22 日 から平成 30 年 3 月 3 日 (22 回)	大田区産学 連携施設 多目的室	「プチロボ」製作及び競技会 「おどるマルメロちゃん」製作 「変身マルメロちゃん」製作 「電気回路基礎(LED、スイッチの取り付け)」 「ピカピカツリー」製作及び発表会 「キュートロボ」製作及び競技会 「株荏原製作所藤沢事業所見学」	38 人 (延べ 731 人) ※応募者 42 人

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【予算額 (補助) 2,570,000 円】 【決算額 (補助) 2,146,698 円】

(ア) 区内企業と若者のマッチングのための情報発信ツールの開設

開設日	WEB サイト名称	掲載企業数
平成 29 年 12 月 1 日	おおたシゴト未来図 http://www.pio-ota.jp/shigotomirai/	7 社

(イ) 大学と連携した面接会

実施項目	参加者等
平成 29 年 4 月 19 日、20 日 「工学院専門学校 春季合同企業説明会」 ※専門学校へ出張型の合同企業説明会	参加企業 5 社 (全 270 社中) 参加学生 147 人 (全 1,719 人中) 結果 2 社 内定 2 人
平成 29 年 9 月 4 日 「城南職業能力開発センター大田校福祉調理 科学内面談会」 ※職業訓練校へ出張型の面接会	参加企業 3 社 参加学生 24 人 ・この面接会から採用に至ったケースはなし

平成 29 年 10 月 10 日 「工学院専門学校 秋季合同企業説明会」	参加企業 2 社 (全 111 社中) 参加学生 81 人 (全 494 人中) ・この面接会から採用に至ったケースはなし
平成 29 年 11 月 24 日 「横浜商科大学 学内企業説明会」	参加企業 8 社 参加学生 12 人 ・この面接会から採用に至ったケースはなし
平成 29 年 12 月 14 日 「城南職業能力開発センター大田校エンジニア科等学内面談会」	参加企業 4 社 参加学生 39 人 結果 2 社 内定 2 人
平成 30 年 2 月 23 日 「工学院大学大田区ものづくり企業ミニ面接会」	参加企業 4 社 参加学生 5 人 結果 1 社 内定 2 人

④ 内職あっせん・相談事業

【予算額 (補助) 5,825,000 円】 【決算額 (補助) 5,800,505 円】

(ア) あっせん相談

内 容	回数等
あっせん・相談状況	<別表C>
出張相談事業 ハローワーク大森 職業相談部門 (1 階) 内に専用ブースを借り、内職相談者と面談 (若い主婦層の求職者獲得のためマザーズコーナーとも連携) 毎月第 4 火曜日 時間: 9 時 30 分から 11 時 30 分	12 回

(イ) 求人開拓

求人企業への企業訪問	延 90 社
------------	--------

(ウ) 普及・啓発用印刷物の作成

項 目	内 容	回数等
普及・啓発用印刷物 (内職求人開拓用印刷物の作成・配布)	蒲田・大森法人会会報封入用	約 5,200 枚
	大田区商店街連合会新聞封入用	約 8,100 枚
普及・啓発用記事 (内職求人開拓用記事の作成・掲載)	東京都中小企業振興公社 ビジネスサポート Tokyo に掲載	1 回
普及・啓発用印刷物 (内職求職者用印刷物の作成・配布)	区内図書館 (17 カ所) ポスター掲示・チラシ設置	約 500 枚
	区役所子育て支援課・保育サービス課にチラシ設置	約 100 枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置	約 400 枚
	大田文化の森・子ども家庭支援センターにチラシ設置	約 200 枚
普及・啓発用記事 (内職求職者用記事の作成・掲載)	大田区社会福祉協議会 大田社協だより 10 月号及び 3 月号に掲載	2 回

〔重点取組み事項〕

- ・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成で採択したテーマが医療・福祉・次世代新素材分野など多岐にわたり、開発内容がより高度化していることから、次世代産業での製品開発にチャレンジする区内中小企業が増えている動向が伺える。また、デザインプロジェクトは2年目になり、デザイン思考のワークショップや出前講座は好評で、参加申込み数も増加している。
- ・新製品・新技術コンクールの申込み件数も増加し、有望なアイデア9件を輩出した。最優秀賞はデザイン性を活かした部屋の装飾機器で、BtoCとなる商品であった。また、デジタル技術との融合など次世代産業を見据えた製品の応募も増えている。
- ・新事業連携・新産業クラスター形成助成は、医療関連検査装置、農業関連機器、スポーツ器具、福祉機器開発等12案件が採択された。今後の企業間連携や産学連携によって新たな産業クラスター発展的していくことが期待できる。
- ・次世代産業創造のため、ライフイノベーション分野で初めて看工連携を開始して、医療用ストロー等の具体的な製品開発につながっている。また、東工大との連携による新産業・技術に関するセミナーを年間通じて複数回開催した。
- ・大田区から受託して実施した障がい者スポーツ用具（車いす）開発事業では、車いすメーカーを中核企業とし、区内中小企業10社が連携して製品開発に取り組み、競技用車いす（バスケットボール）を完成させた。産業クラスターを形成した製品開発のモデル事業に資する成果をあげることができた。（後記：P.28）

① 新製品・新技術開発支援事業

【予算額（補助）80,631,000円（自主）6,000円（合計）80,637,000円】

【決算額（補助）76,832,535円（自主）5,124円（合計）76,837,659円】

(ア) 開発ステップアップ助成・実用化製品化助成

開発ステップアップ助成		申込件数 19社、助成 6社
企業名	事業テーマ	
㈱コニスス研究所	新型真空管 Nutube を使った録音用コンプレッサーの開発	
㈱カラズ	直進軽快車いす開発プロジェクト	
㈱エステク・サービス	刃物回転式旋盤の開発	
㈱The MOT Company	携帯用車椅子向け CFRP 部品の開発	
トキコーポレーション㈱	建築ファサード用実体演出ディスプレイシステムの開発	
ケーディークロート㈱	経頭蓋直流電気刺激を用いた脳卒中患者の運動機能回復促進のための装置	
実用化製品化助成		申込件数 23社、助成 11社
企業名	事業テーマ	
㈱三津海製作所	冷蔵庫内を窒素雰囲気にする為の、真空ポンプの新技術開発。生産台数が莫大な台数となる為、生産技術を含め、実用化に向けた、真空ポンプ MVP02V24V の試作品の実用化事業。	
アベテクノシステム㈱	使用者に優しい足首関節リハビリ装置の商品開発	
㈱古川精機	医療用薬剤注入用カテーテル等の接続新規規格コネクタ向け検査治具の付加価値向上	

広沢電機工業(株)	分電盤向け多点電力計測装置の開発
日進工業(株)	メタリック樹脂製医療用止血鉗子製品化のための諸課題の解決及び実用化達成のための量産技術の開発
矢野口自工(株)	フレコンバックのベルトを、人の手を介さず重機のフックに、自動的に掛かる製品の開発
(株)ユニックス	ナノ繊維を用いたPM2.5対策室内レジスターの開発
(株)アシスト	歯科用石膏パックの実用化・製品化
(株)テクニシモ	生産現場で使用できる安価なインデンタ(硬さ計)
イービーエム(株)	ダイセクション時における損傷評価機能を有する下肢静脈モデルの製品化
(株)岩間工業所	リニアモーター駆動マシニングセンターの開発

(イ) デザインプロジェクト

開催日		テーマ及び講師	参加者数
ワークショップ	平成29年10月6日	「デザインシンキングで新しいものづくりへ」 東京工業大学 情報理工学院 情報工学コース 特任准教授 森本 千佳子 氏	17人
出前講座	平成30年2月17日	出前先：アベテクノシステム株式会社 東京工業大学 情報理工学院 情報工学コース 特任教授 森本 千佳子 氏	19人

(ウ) 大田区中小企業新製品・新技術コンクール

新製品・新技術コンクール		申込件数 32件 表彰 9件
賞名	受賞企業	製品・技術名
最優秀賞	ゼロバイゼロ	K v e l (クベル)
優秀賞	(株)アイオイ・システム	プロジェクションピックアップシステム®
	(株)アシスト	空中結像 ナンバー入力ディスプレイ FLOATING IMAGE HYPER VISION®
おおた福祉・医療賞	(有)タジマ	アトマーブラケット
おおた秀逸技能賞	(株)高桑製作所	一枚鉸(ひとひらしぼり)
おおたネットワーク賞	斎藤遠心機工業(株)	SID 高効率スクリュードカンター
奨励賞	(有)大野精機	六角生爪「カメチャック」
	(株)KDA	プラスチック製引っ張り棒(プラスチックコンテナ牽引用)
	(株)ビートセンシング	散剤調剤用の高自転回転を達成した自転公転装置

② 新事業連携・産業クラスター形成助成

【予算額 (補助)4,500,000円 (自主)45,000円 (合計)4,545,000円】

【決算額 (補助)2,714,000円 (自主)39,000円 (合計)2,753,000円】

(ア)新事業連携・新産業クラスター形成助成

新事業連携・新産業クラスター形成助成		申込件数 17社、助成 10社
企業・グループ名	テーマ名	
①(株)昭和製作所 (市場創成をめざす企業集団)	多用途でコンパクトな材料強度試験装置の創製	
②(株)スター精工工業社 (ものづくりがんばり隊)	製造業向け外観検査装置のFS・市場調査	
③(株)クリエーション・コア・コーポレーション	農業センサー情報集約システム	
④ケーディークロート(株)	オートウェスタン・プロットイング装置簡易版(量産版)の開発試作	
⑤(株)テクニシモ	大気汚染 (Nox) センサーの試作試験・販路調査	
⑥大川三基(株)	拡散接合による可とう導体製造条件の確立	
⑦(株)データ・テック	ドライブレコーダーの海外展開における現地評価と調査	
⑧SEP(株)	カプセル充填添加剤を用いた射出成形法の開発	
⑨赤土貿易 (THE THREE LIFE PROJECT)	3 ライフ---OUTDOOR/PARTY/FAMILY	
⑩テックストレーキ(株) (マキテックストレーキ)	日本人・アジア人の体格にマッチしたスポーツ射撃用品の開発・製造	

(イ)大田区異業種交流グループ連絡会への参加

理事会参加	年4回
ものづくり祭おおた打ち合わせ参加	年3回

③ 産学連携研究開発支援事業

【予算額 (自主)2,667,000円】 【決算額 (自主)1,610,133円】

産学連携研究開発支援施設(オオタイノベーション・ラボ)の管理運営業務を行った。同施設は中央八丁目保育園と合築の施設であるため、安全配慮に細心の注意をもって業務にあっている。入居者支援についてはコーディネーターによる産学連携サポート支援を実施した。

④ 次世代産業創造事業

【予算額 (補助)32,622,000円 (自主)5,788,000円 (合計)38,410,000円】

【決算額 (補助)29,549,185円 (自主)4,890,515円 (合計)34,439,700円】

(ア) 区内の研究開発型企业に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
研究開発マッチングシステム	大学や企業の研究者の方が、実験用特殊機材の製作や加工、試作品製作の等を発注する場合に共同研究・委託研究等に役立つ、研究開発型の区内中小企業をWebサイト上で紹介。	143社
大田区研究開発型企业ガイド2017	各種展示会等で配布	2,800部
大学や企業研究機関からの技術相談	Webサイトからの問い合わせ案件数	119件

研究開発マッチングシステム登録会員企業と共同した展示会への出展	研究・技術開発者向けに対する会員企業 PR	5 展示会 (P.24 (オ))
研究開発マッチングシステム登録会員企業への情報発信	大手企業とのマッチング事業、協会や国・区が行う事業紹介等をメールマガジンとして会員企業に情報発信	41 回
ニューズレターの配信	区内中小企業、大学、研究機関等へ産学連携情報を発信	26 回

(イ) 産学公相談

(a) 産学連携コーディネーターによる相談業務の実施

項目	相談件数
産学公交流相談（内、医工連携相談）	380 件 (96 件)

(b) 医工連携相談

コーディネーター中の医工連携案件	22 件
------------------	------

(ウ) 次世代産業分野のセミナーの開催

(a) 東京工業大学技術交流セミナー

過去 88 回開催のセミナー実績を踏まえ東工大との産学連携・技術交流の一層の強化を図るとともに、技術革新に繋がる効果的なセミナー・研究会を開催している。

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
第 89 回 平成 29 年 8 月 29 日	「人を支援するロボットシステム～設計・制御・インテグレーション～」 東京工業大学工学部機械系 准教授 菅原 雄介 氏	25 人 (16 人)
第 90 回 平成 29 年 9 月 26 日	「テクノロジーがスポーツを変える」 東京工業大学工学部システム制御系 教授 中島 求 氏	14 人 (7 人)
第 91 回 平成 29 年 10 月 27 日 〔大田研究開発フェア〕 で実施	「次代の工作機械を目指して」 東京工業大学科学技術創成研究院未来産業技術研究所 准教授 吉岡 勇人 氏	43 人 (13 人)
第 92 回 平成 29 年 11 月 16 日	「生物行動の知恵をロボットへ」 東京工業大学工学院システム制御系 教授 倉林 大輔 氏	15 人 (11 人)
第 93 回 平成 30 年 3 月 1 日	「金属の拡散を用いた接合」 東京工業大学物質理工学院材料系 助教 オ ミンホ 氏	11 人 (8 人)
第 94 回 平成 30 年 3 月 8 日	「錆（さび）は悪者？！酸化物を利用して良い鋼・金属材料を作る」 東京工業大学物質理工学院材料系 助教 遠藤 理恵 氏	11 人 (6 人)

(b) 切削・研削研究会

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
第124回 平成 29 年 4 月 21 日	新規企業紹介、1月実施アンケートの報告及び意見交換	12 人 (9 人)
第125回 平成 29 年 5 月 26 日	「ケナメタルジャパン(株)推奨製品及び最新技術の紹介」 ケナメタルジャパン(株)グローバルソリューション エンジニアリングチームリーダー 佐々木 良佑 氏	11 人 (7 人)
第126回 平成 29 年 7 月 4 日	「ドリルによる焼入鋼深穴高精度加工」 ㈱イワタツール 代表取締役 岩田 昌尚 氏	12 人 (10 人)
第127回 平成 29 年 7 月 24 日	「切削液の役割と効果」 日興キャスティ(株) 東京オフィス 部長 長島 広貴氏、主任 須賀 貴人氏、鈴木 洋介氏	12 人 (6 人)
第128回 平成 29 年 9 月 13 日	「内径加工、ミーリング・穴あけ加工」 京セラ(株) 東日本テクニカルセンター ソリューション営業 守谷 隆史 氏	14 人 (7 人)

第129回	平成 29 年 10 月 2 日	「3D CAD/CAM/CAE Fusion 360を活用したコストダウンと設計加工業務効率化」 オートデスク(株)テリトリー営業本部 河上 秀志 氏 技術営業本部 関屋 多門 氏 (株)マクロス 営業技術マネージャ 高橋 健二郎 氏	10人 (4人)
第130回	平成 29 年 11 月 17 日	「高能率穴加工と高精度穴加工について」 「ロボット展の案内」 (株)不二越 東日本支社 工具営業部 釣谷 洋輔 氏 ロボット産機営業部 福岡 隆信 氏	10人 (7人)
第131回	平成 29 年 12 月 13 日	「平成30年度以降の研究会の運営方法、活動方針、内容に関する意見交換会」	12人 (5人)
第132回	平成 30 年 1 月 15 日	「DLT加工負荷フィードバック装置(テーブル設置型)」 (株)芝技研 SE部機械グループ 技術部長 太田 正利 氏、菊池 洋一郎 氏、垂水 禧亨 氏	7人 (4人)
第133回	平成 30 年 2 月 20 日	「スーパーG1チャックによる高能率加工セミナー」 ユキワ精工(株) 代表取締役社長 酒巻 弘和 氏	10人 (6人)
第134回	平成 30 年 3 月 16 日	「企業グループの自主運営による研究会の立上げに向けて」	15人 (6人)
※各回のアドバイザー講師は共通。 横浜国立大学 名誉教授 高木 純一郎 氏			

(C) 新分野進出セミナー

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
平成 29 年 7 月 25 日	「いまから参入する！ 環境・社会問題解決ビジネスセミナー」 千葉商科大学 非常勤講師 後藤 貴昌 氏	19人 (8人)
平成 29 年 10 月 19 日	ロボットセミナー「音声合成技術の現状と未来について」 国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 特任助教 高木 信二 氏	16人 (9人)
平成 30 年 2 月 19 日	「自社技術を活かした航空機産業への参入」 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 政策研究事業部 公共経営・地域政策部 主任研究員 関 恵子 氏 政策研究事業部 研究開発部 主任研究員 長尾 尚訓 氏	18人 (8人)

(d) 医工連携セミナー

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
平成 29 年 10 月 26 日 〔大田研究開発フェア で実施〕	「『詠える』の最新テクノロジー ～木床義歯からデジタルデンチャーへ～」 鶴見大学 歯学部 歯科技工研修科 副主任 松本 敏光 氏	30人 (11人)
平成 29 年 11 月 21 日	「看工連携ワークショップ ものづくり×看護師さん=!？」 東京工科大学 医療保健学部 看護学科長 教授 野澤 美江子 氏 (公財) 地域医療振興協会 東京北医療センター 看護部 看護部長 又木 満理 氏	11人 (11人)

(エ) おおた研究・開発フェア

実施事業及び開催日	来場者数、参加企業数、商談件数等
第7回 おおた研究・開発フェア 平成 29 年 10 月 26 日 から 27 日	出展者数：83 団体 (91 コマ) 来場者数及び商談件数： ・ 26 日 876 人 商談件数 2,800 件 ・ 27 日 869 人 商談件数 3,182 件 ・ 合計 1,745 人 5,982 件 うち、可能性の高い商談件数 653 件

特別講演 ①平成 29 年 10 月 26 日	テーマ：新しいコミュニケーションと Xperia Smart Products 講 師：ソニーモバイルコミュニケーションズ(株) スマートプロダクト部門 副部門長 伊藤 博史 氏 会 場：4 階コンベンションホール 聴講者：123 人
②平成 29 年 10 月 26 日 〔※この講演は、7 号事業の大田区からの受託事業(P.28)として実施〕	テーマ：車いすバスケットボールミーティング —東京 2020 パラリンピック競技大会に向けて— 講 師：(株)松永製作所ブランドマネージャー (車いすバスケットボール元日本代表) 神保 康広 氏 (バルセロナ、アトランタ、シドニー、アテネ) 車いすバスケットボール元日本代表 佐藤 聡氏 (北京、ロンドン)、森 紀之 氏 (北京)、 鈴木 明将 氏 (北京、ロンドン) 会 場：2 階小展示ホール 聴講者：70 人
③平成 29 年 10 月 27 日	テーマ：セルロースナノファイバーの特性と応用展開 講 師：東京大学 大学院 農学生命科学研究科教授 磯貝 明 氏 会 場：4 階コンベンションホール 聴講者：231 人
歯工連携参入セミナー 平成 29 年 10 月 26 日	テーマ：『詠える』の最新テクノロジー ～木床義歯からデジタルデンチャーへ～ 講 師：鶴見大学歯学部 歯科技工研修科 副主任 松本 敏光 氏 会 場：6 階 C 会議室 聴講者：30 人
第 91 回東京工業大学 技術セミナー	テーマ：次代の工作機械へ目指して 講 師：東京工業大学 未来産業技術研究所 准教授 吉岡 勇人 氏 会 場：6 階 C 会議室 聴講者：43 人

(オ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成 果
メディカルショー・ジャパン&ビジネスエクスポ 2017	平成 29 年 6 月 29 日から 7 月 1 日 パシフィコ横浜	相談件数 8 件 可能性高 2 件
国際モダンホスピタルショウ 2017	平成 29 年 7 月 12 日から 14 日 東京ビッグサイト	相談件数 12 件 可能性高 2 件
メディカルクリエーションふくしま 2017	平成 29 年 10 月 25 日から 26 日 ビッグパレットふくしま	相談件数 19 件 可能性高 14 件
第 10 回 4 大学ジョイントセミナー	平成 29 年 11 月 15 日 大田区産業プラザ Pi0	相談件数 0 件 可能性高 0 件
2017 国際ロボット展	平成 29 年 11 月 29 日から 12 月 2 日 東京ビッグサイト	相談件数 15 件 可能性高 12 件

6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

【定款第 4 条（6）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・本年度は、勤労者共済会の経営改善を目的に給付金事業の支給金額改定と申請手続きの簡素化について、平成 30 年度からの適用に向けた準備と会員への PR に努めてきた。
- ・加入促進では事業所単位での加入勧奨活動に努め、会員数の増加につなげた
- ・福利厚生事業では、会員にとって魅力あるメニューを増加させることを課題に取り組んでいる。本年度は子供や親子で参加できる 2 つの自主企画セミナーを開催した。

① 加入促進事業

【予算額 (補助) 3,796,000円 (自主) 6,761,000円 (合計) 10,557,000円】

【決算額 (補助) 2,915,967円 (自主) 5,420,317円 (合計) 8,336,284円】

(ア) 勤労者共済事業の周知

大田区勤労共済会報「ふれあい」を全8頁フルカラーで発行した。

発行回数	発行部数
年10回	各号4,750部

(イ) 会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用した加入促進員による個別訪問・加入促進キャンペーンの継続実施中。

共済会員入会推移

	平成27年3月末 (平成26年度)	平成28年3月末 (平成27年度)	平成29年3月末 (平成28年度)	平成30年3月末 (平成29年度)
事業所(社) (前年度対比)	1,659 (+55)	1,670 (+11)	1,655 (-15)	1,617 (-38)
会員(人) (前年度対比)	4,350 (+177)	4,488 (+138)	4,478 (-10)	4,539 (+61)

② 福利厚生事業

【予算額 (自主) 36,765,000円】 【決算額 (自主) 32,556,429円】

(ア) 健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用の助成を行った。

人間ドック・ミニドック	利用補助	85 件
インフルエンザ予防接種	〃	309 件
総合体育館スポーツ教室	〃	4 件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,549 セット
区営プール利用券	〃	1,063 枚
区営スポーツセンター	〃	27 セット

(イ) レクリエーション事業

旅行会社2社による幅広い選択肢を用意した日帰りバスツアーの利用補助を年6回実施。また、目黒区等7区の勤労者サービスセンターと共同で「ディズニー パーク・ファン・パーティー」を実施。

既成バスツアー自由参加補助	284 枚
ディズニー パーク・ファン・パーティー	50 人

(ウ) 宿泊施設の利用

1泊6,000円以上の余暇旅行に対し年度内1回3,000円の宿泊費助成を行ったほか、ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し合計6泊まで1泊につき2,000円の補助を実施。

ライフサポート倶楽部宿泊補助	330 件
宿泊補助	362 件

(エ) 契約施設の利用

他区9つの勤労者サービスセンターと共同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助

券並びに割引券を配布したほか、季節のレジャーやゴルフ、文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。また、区内商店を中心に会員証呈示で特典が受けられる指定店を増やした。

レジャー施設等	2,879 枚	潮干狩り	21 枚
東京ディズニーリゾート	1,890 枚	カルチャー教室	1 件
釣り船	69 枚	天然温泉平和島	304 枚
ゴルフ場	24 枚	文化振興協会	58 枚

(オ) 各種チケット割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、サッカーJリーグ、大相撲に加え、地元を本拠地とする女子プロバスケットボールクラブ『羽田ヴィッキーズ』・男子バスケットボールクラブ『アースフレンズ東京Z』等大田区総合体育館で行われる試合のチケットもあっせんした。

映画鑑賞チケット	4,473 枚	大相撲観戦チケット	36 枚
こども商品券	38 セット	スポーツ観戦チケット	193 枚
東京ドームシティ得10チケット	94 枚	美術展チケット	681 枚
図書カード	400 枚	東武動物公園ハッピーフリーパス	300 枚
食事券	980 枚	おふろの王様	211 枚
鑑賞券(演劇・音楽等)	493 枚	ハワイアンズ	146 枚

自主企画セミナー

区内中小企業との連携や日本弁理士会との連携により、会員参加型のセミナーを自主企画で行った。

開催日	概要	参加者数
平成 29 年 12 月 10 日	万華鏡ワークショップ 区内中小企業の廃材・パーツを活用した万華鏡の製作 講師：ワンオーナーインジャパン合資会社 折笠 直美 氏 会場：Bizbeach	15人
平成 30 年 2 月 3 日	小学生のための発明人材育成セミナー 小学生を対象とした知的創造教育の座学と、紙コップ、ビー玉、紙皿を使って世の中にないちり取りを製作。 製作後には親子でプレゼンテーションをした。 講師：日本弁理士会関東支部所属弁理士 5 名	31人 (親子15組)

③ 給付事業

【予算額 (自主) 15,420,000 円】 【決算額 (自主) 16,273,150 円】

(ア) 共済会員に対する「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝 金	398 件	計 588 件
見 舞 金	102 件	
弔 慰 金	88 件	

(イ) 継続会員記念品(5年継続、10年毎継続)の贈呈

5年継続	147 件	計 442 件
10年継続	195 件	
20年継続	59 件	
30年継続	41 件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業【定款第4条（7）関係】

〔重点取組み事項〕

- ・大田区産業プラザの指定管理者として、本年度からの新たな期間（5年間）を選任された。指定管理者として大田区との契約に基づき、着実に取り組んだ。また、地域住民参加型のイベントを開催し、大田区産業プラザのPRに努めた。
- ・区内中小企業支援に係る大田区からの受託事業については、羽田跡地の産業支援施設に係わるものなど、大田区の新たな産業政策の立案と具体化に資する会議の開催のほか、東京2020オリンピック・パラリンピックに関連する3つの事業を受託した。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【予算額（利用料金）238,836,000円】 【決算額（利用料金）222,897,744円】

- ・産業プラザ施設利用状況： <別表A>
- ・施設利用収入状況： <別表B>

快適で対応力のある施設を目指し顧客満足度向上させるため、産業プラザWebサイトスマホ対応、宅配便荷物一時保管サービスの開始、利用案内の刷新、非常階段扉サイン新設、D会議室LED化、壁面改修（4階廊下・小展示ホール倉庫等）、シャワートイレ改修、通信カラオケへの変更など様々な改善を図った。MICE活動を推進し区内産業振興の拠点となるよう、大規模催事主催者にインタビューを行いリーフレット作成や区の観光・グルメなどのパンフレット配布依頼などを実施した。また、地域に親しまれる施設となることを目指し、地域住民参加の朝ヨガ及び親子ヨガを企画し、実施した。

② 創業支援施設等の管理運営

【予算額（受託）28,260,000円】 【決算額（受託）26,053,780円】

区の指定管理者として施設の管理運営を行うとともに、入居企業が自立した企業活動を営めるよう創業相談員による指導、支援を実施した。

施設名	入居者・退去者数等（平成29年度末）	その他
創業支援施設	使用開始:13件・退出:12件・3月末入居企業数28件（シェアードオフィス含む）	使用者向け勉強会開催：3回
新産業創造支援施設	3月末入居企業数2件	産学連携コーディネーターが伴走支援
産学連携施設	退出:5件・3月末入居企業数11件（スモールオフィス含む）	

③ 施設貸与に伴う付加サービス事業

【予算額（自主）4,711,000円】 【決算額（自主）3,607,050円】

施設利用者の利便性を高め、利用率の向上に資するため、イベントサポート事業者ガイド及びPiO周辺マップの発行（今年度はクーポン掲載）、看板作成サービス、利用者用コピーサービス、インターネット回線接続、催事ごみ処理サービス、特殊簡易公衆電話、携帯電話充電器等のサービスを実施した。

④ 産業プラザ施設維持の管理運営

【予算額（受託）42,411,000円】 【決算額（受託）39,723,714円】

竣工後20年を経過し、老朽化による故障が頻発している。協会では、受託業務の範囲で

き得る維持補修工事を実施したほか、区が長期修繕計画に基づき実施した工事に際し、利用者や関係団体及び工事業者の調整等の協力を行った。

実施した維持補修等の工事

工事名	
・パッケージエアコン整備	・各種循環ポンプ分解整備
・貫流蒸気ボイラー劣化部品交換	・自動ドア駆動装置交換工事
・吸収冷温水発生器ジョイント交換工事	・衛生設備器具交換工事
等 54 件	

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事

工事名	
・非常階段照明器具更新工事	・自動火災報知設備更新工事設計
・吸収式冷温水発生機分解点検	・小展示ホール調光設備更新工事

⑤ おおた研究・開発フェアにおける車いすバスケットミーティング開催業務

【予算額 (受託) 468,000 円】 【決算額 (受託) 407,060 円】

大田区オリンピック・パラリンピックアクションプログラムにおけるトップアスリート等派遣事業の一環として、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、大田区のものづくりを PR し、区内産業の活性化を図る目的で、当該業務が大田区から委託された。

当該業務では、競技に使用する車いす等の製造に関して、これまでの大田区企業の実績の PR と、今後の開発における大田区企業間の連携を醸成する契機となるキックオフイベントを、研究開発型の企業が多く集まる「おおた研究・開発フェア」において実施した。

実施内容については、「おおた研究・開発フェア」(P. 24)において記載

⑥ 大田区障がい者スポーツ用具製品(車いす)開発事業

【予算額 (受託) 25,000,000 円】 【決算額 (受託) 19,958,700 円】

大田区が東京都の補助事業「地域連携型障がい者スポーツ用具開発促進事業」の採択を受け、当該業務がものづくりクラスター形成のモデル事業と成り得ることから当協会に委託された。

バスケットボール競技の車いすの軽量化と操作機能性の向上を目標に掲げ、都内に事業者がある車いすメーカー(株)松永製作所(本社:岐阜県養老郡)を核に、区内中小企業群(10社)の高度な技術の融合により10台の競技用車いすを完成させた。

完成した車いすは、平成30年3月31日(土)に大田区総合体育館で開催されたプロバスケットボールチーム「アースフレンズ東京Z」の試合において、お披露目会を実施し発表した。

⑦ 「新たな産業振興基本戦略」方針の策定支援に係る業務

【予算額 (受託) 5,184,000 円】 【決算額 (受託) 4,997,981 円】

大田区における「新たな産業振興基本戦略」方針の策定を検討するため、学識経験者、産業事業者等の専門家を交えて意見を徴する会議を開催し、報告書を提出した。

会議名	開催年月日
重点施策会議① 「産業交流施設のあり方」	(第1回) 平成29年7月10日
	(第2回) 平成29年7月31日
	(第3回) 平成29年8月4日
重点施策会議② 「産業立地政策の方向性」	(第1回) 平成29年9月4日
	(第2回) 平成29年9月12日
重点施策会議③ 「戦略方針策定会議」	(第1回) 平成29年11月1日
	(第2回) 平成29年11月16日

平成 29 年度 産業プラザ施設利用状況 <別表 A>

(1) 展示ホール

施設名	前半 (5時間) 9:00~14:00		後半 (5時間) 14:00~19:00		利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	
	利用率		利用率		
大展示ホール	347	275	347	298	290,894
	79.3%		85.9%		
小展示ホール	347	244	347	262	120,005
	70.3%		75.5%		
合 計					410,899

(2) コンベンションホール・会議室他

施設名	午前		午後		夜間		利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	
	利用率		利用率		利用率		
コンベンションホール	347	283	347	316	347	276	187,084
	81.6%		91.1%		79.5%		
A会議室	347	331	347	331	347	230	24,399
	95.4%		95.4%		66.3%		
B会議室	347	327	347	330	347	221	25,986
	94.2%		95.1%		63.7%		
C会議室	347	293	347	312	347	185	24,586
	84.4%		89.9%		53.3%		
D会議室	347	300	347	311	347	173	30,115
	86.5%		89.6%		49.9%		
E会議室	347	300	347	320	347	181	12,715
	86.5%		92.2%		52.2%		
F会議室	347	313	347	328	347	230	11,273
	90.2%		94.5%		66.3%		
G会議室	347	302	347	329	347	198	10,277
	87.0%		94.8%		57.1%		
特別会議室	347	243	347	299	347	147	36,097
	70.0%		86.2%		42.4%		
和室	347	285	347	293	347	196	13,515
	82.1%		84.4%		56.5%		
合 計							376,047

施設利用収入状況 <別表 B>

利用料金収入	274,478,587円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料： 175,011,064円 ・前年度収納分： 90,384,023円 ・駐車場利用料： 9,083,500円

内職あっせん・相談事業 <別表C>

	求職状況			求人状況		あっせん状況	
	新規人数	再来人数	計	事業所数	人数	事業所数	人数
29年4月	42	1	43	26	68	56	71
5月	30	5	35	16	35	24	49
6月	39	8	47	20	45	38	46
7月	39	0	39	16	37	25	43
8月	34	6	40	11	18	20	23
9月	33	1	34	24	49	41	54
10月	36	12	48	23	55	53	93
11月	46	0	46	13	16	25	25
12月	30	5	35	25	38	24	27
30年1月	34	4	38	21	46	47	51
2月	49	2	51	23	73	40	67
3月	49	4	53	21	35	45	51
合計	461	48	509	239	515	438	600

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第34条第1項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、各々承認を得た。

第1回	平成29年5月11日 出席理事 6名 欠席理事 1名 同席監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業報告の承認について 平成28年度決算の承認について 基本財産の運用について 定時評議員会の開催について 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
第2回	平成29年11月7日 出席理事 7名 欠席理事 0名 同席監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 基本財産の運用について 平成29年度第2次補正予算について 公益財団法人大田区産業振興協会の規程改正について 職員の育児・介護に伴う休業等に関する規程、勤労者共済事業実施規定 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
第3回	平成30年3月28日 出席理事 7名 欠席理事 0名 同席監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度第3次補正予算について 平成30年度事業計画について 平成30年度収支予算・資金調達及び設備投資の見込みについて 公益財団法人大田区産業振興協会の規程改正について 就業規則、職員の給与等に関する規程、非常勤職員規程、契約職員の給与等に関する規程、就業規則第11条第3項の規定により採用された短時間勤務職員規程、就業規則第11条第3項の規定により採用された職員の給与等に関する規程、就業規則第11条第3項の規定により採用された職員の定年及び退職手当に関する規程、職員の退職手当に関する規程、職員の旅費に関する規程、財務規程 臨時評議員会の開催について 評議員選定委員外部委員の選任について

公益財団法人大田区産業振興協会定款第37条に基づき、決議を行った理事会は次のとおりである。

第1回	決議のあった日 平成29年6月12日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 副理事長の選定について
第2回	決議のあった日 平成29年7月10日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度第1次補正予算について 評議員選定委員外部委員の選任について 臨時評議員会の開催について
第3回	決議のあった日 平成29年12月8日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人大田区産業振興協会の規程改正について 職員の給与等に関する規程、就業規則第19条第2項の規程により嘱託員として再雇用された職員の服務及び給与等に関する規程

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第18条第1項に基づき、理事長が招集した評議員会は次のとおりであり、各々承認を得た。

定時 評議員会	平成29年5月26日 出席評議員 6名 欠席評議員 1名 同席監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 役員を選任について 平成28年度事業報告の承認について 平成28年度決算の承認について
------------	---	---

公益財団法人大田区産業振興協会定款第21条に基づき、決議を行った評議員会は次のとおりである。

第1回	決議のあった日 平成29年4月14日 同意した評議員 7名	・監事の選任について ・評議員選定委員の選任について
第2回	決議のあった日 平成29年7月20日 同意した評議員 7名	・常勤役員の報酬額について

●評議員選定委員会

第1回	平成29年4月10日 出席委員 5名 欠席委員 0名	・評議員の選任
第2回	平成29年7月11日 出席委員 4名 欠席委員 1名	・評議員の選任

◆協会組織強化

協会内研修

	開催日	対象者	目的	参加人数
新任研修	①② 4月 3、4、5日 ③ 5月31日	①協会全職員 ②③新任職員等	①理事長講話（職員全員） ②協会の基礎知識、会計、契約、文書、服務、規程、セキュリティ等について学ぶ。 ③区内中小企業等の施設見学を行い区内産業の現状を学ぶ。	①40人 ②15人 ③20人
非常勤職員への変更に伴う説明会	4月3日	非常勤職員全員	非常勤職員へ協会として期待する業務及び服務の変更について、説明、周知する。	14人
海外出張報告会	4月17日	協会全職員	海外取引拡大のための出張により得た情報や知識の共有を図る。	26人
新任主任主事研修	12月20日	新任主任職員	外部研修と合わせ、協会の現状等を踏まえ、管理職による主任主事へ期待する役割、意識を高める。	2人
セキュリティ研修	①12月13日 ②12月19日 ③12月25日	協会全職員	協会内の情報セキュリティ対策実施手順を徹底させ、協会職員の情報管理の意識を高める。	62人
人事制度改正に伴う説明会	2月15日	協会全職員	平成30年度の人事制度に係る規程改正を前に改正内容を職員に周知する。	26人
講習会「羽田空港跡地に関する産業交流拠点について」	2月20日	協会全職員	区より講師を招き、羽田空港跡地の動向と今後の区と協会の連携等について学ぶ。	30人

その他、職層研修等は民間の開催する研修へ参加。

